二松学舎大学附属図書館 quarterly report **与**



目次 新入生にお薦めの本

₩ P2 增田裕美子

❖ P3 福島 浩/原由来惠

❖ P4 中川 桂 古賀光生

→ P5 小渕朝男〉岩崎愛-

↔ P6 伊藤晋太郎

P6~7 利用者からのQ&A 論文を探しましょう

P8 図書館だより

No.88 2014(平成26)年 3月



文学部 增田裕美子 教授

1 **翻訳語成立事情** 著者: 柳父章 発行所: 岩波書店 (岩波新書) 1982年 756円

日頃何気なく使ったり、見たり聞いたりしている言葉が、もともとの日本語にはなかった言葉だとしたらどう思いますか。本書は、「社会」や「恋愛」などごく当たり前の日本語として通用している言葉が、実は西洋語の翻訳語であったことを解き明かしてくれる"目からウロコ"の一冊です。

明治維新によって西洋から様々な思想、概念が入ってきたとき、同時に西洋の言葉も入ってきましたが、異文化の言葉をそのまま言い表す言葉が日本語にはなかったこと、それゆえ当時の人々はたいへん苦労して訳語を考えた事が本書で説明されています。たとえば、「社会」はsocietyの訳語ですが、福沢諭吉は当初、「人間交際」「交際」などの訳語を使っていて、その後、「社」と「会」を組み合わせた「社会」という造語が浸透するようになりました。このようにして多くの翻訳語が誕生しましたが、本書で問題にされるのは翻訳語の意味のわかりにくさ、そしてそれゆえにこそ何か深遠な意味を持っているかのようにみなされて、人々を魅惑し、乱用されていったことです。本書によって、あらためて言葉とは、日本語とは、ということを考えてみてはどうでしょうか。

②『新装版 ソフィーの世界: 哲学者からの不思議な手紙(上下二冊)』

著 者: ヨースタイン・ゴルデル 発行所: NHK出版 2011年 上1,050円、下1,050円

「あなたはだれ?」

こんな手紙が突然送られてきたらどうしますか。本書は十四歳の少女ソフィーのもとにこんな手紙が差出人もわからないまま送られてきたところから始まります。ソフィーは鏡に自分を映して考えます。そして外に出て「今私はこの世界にいる」と自覚しますが、自分がいつまでも生きているわけではないことも分かっています。そんなことを考えていると二通目の手紙が届きます。

「世界はどこからきた?」

こうした根源的な問いについて答えようとしてきたのが哲学です。本書はこの哲学の歴史をファンタジー仕立てで語ってくれています。哲学というと難しそうですが、著者は本書の最初のほうで、この世界に、そして生きていることに驚きを覚えることから哲学は始まると言っています。そして人は誰でもこの、驚く能力を持っているけれど、大人になるにつれ日常にとらわれ、世界に馴れっこになってしまって、驚くこともなくなってしまうと言っています。当たり前のように思っていることも実はとても不思議なことなのだということに気づかされ、哲学が身近に感じられる一冊です。

③『とりかへばや物語』

著 者:鈴木裕子編

発行所: 角川学芸出版(角川文庫 角川ソフィア文庫 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典) 2009年 780円

活発でやんちゃな女の子と内気で恥ずかしがり屋の男の子という二人のきょうだいが、女の子は男として、男の子は女として成長していくという奇想天外な物語。作者不詳ですが、王朝時代という古い時代にこんな物語が作られたことに驚きを覚えます。

二人の父親は権大納言。二人ともたいそう美しく魅力的な子どもでしたが、女はおしとやかに、男は活発であるべきという社会的規範からみればまるで正反対。「とりかへばや」(取り替えたい)と父親が嘆くのもごく当然のことです。 物語は、男として成長した姫君が宮廷社会で出世していき、なんと右大臣の姫君と結婚までしますが、女性である自分が男として生きることに次第に悩みを深めていく様子を中心に展開していきます。

本書は日本の古典をわかりやすく解説しつつ、原文、現代語訳もおりまぜて紹介してくれるダイジェスト版のシリーズの一冊。物語の面白さにひかれて先へたへと読み進めるうちに、王朝時代の生活様式や『源氏物語』との関連など様々な教養が知らず知らずのうちに身につきます。そして現代にも通じる、「男らしさとは何か」「女らしさとは何か」「人生はどう生きるべきか」という問題を考えさせてもくれます。

文学部 福島一浩 教授

著 者:齋藤 孝 『古典力』

発行所:岩波書店(岩波新書) 2012年 840円

著 者:佐々木健一

『日本的感性』 発行所:中央公論新社(中公新書) 2010年 903円

著 者:今道友信

『美について』 発行所:講談社(講談社現代新書) 1973年 777円

書の道を歩む私にとって書の古典は最も大切ですが、古典文学と向き合うことは深みのある思考力を育て、自 分の書作品にじわっと影響を与えてくれるものです。古典を自分の現状に引き寄せて読んでいると一気に時の隔 たりが縮まるように書の古典も同様で時代を超えた書き手の知恵、心の働きを自分に同化することに意味があり ます。古典文学を身につけて活用するコツを『古典力』から学んでほしい。「マイ古典をつくろう」をキャッチ フレーズに名著50選が取り上げられている。

書に生きるとは、書の古典という高い精神性の連鎖の中で生きてゆくことですが、俳句や和歌を通して日本的 な感性を考察することが求められます。日本の歴史を貫く生命力を持つ和歌という形式に一度浸ってほしいとい う思いと、美とは何だろうと考える入口に立つために、お勧めしたいのが『日本的感性』です。

さて美とか芸術という言葉を耳にすることがあると思います。美はいかに発見され受け入れてきたのか。絵 画、工芸、書などいづれのジャンルを問わず美についての体系的思索例として読み、この一冊から皆さんが美に ついて考えていただけることを望んでいます。著者は本文の中で「美は人間の希望である」と述べています。今 道友信著『美について』、美学入門の扉を開きましょう。

文学部 原由来恵 准教授

著 者:冲方丁 1 『はなとゆめ』 発行所: KADOKAWA 2013年 1,575円

最初におススメしたいのは冲方丁の『はなとゆめ』です。帯に「わたしは、あの方を守る番人になる一清少納言の <戦い>の日々」とあるように、あの『枕草子』の作者、清少納言が中宮定子のために過ごした日々を生き生きと描 いた小説です。読みやすいタッチですが、実に『枕草子』当時の時代、中宮定子とその家の中関白家の苦悩が描か れています。これまで学校で習った『枕草子』から、さらに深い世界が広がる一冊です。

②『誰も書かなかった清少納言と平安貴族の謎』

著 者:川村裕子監修 発行所: KADOKAWA (中経の文庫) 2013年 599円

清少納言についてのみならず、平安時代の恋愛、ファッションやメイクが解かりやすく紹介されています。軽く読 める文庫ですが、知識がしっかりと身に付きます。大学生として日本の文化に触れてみてください。

著 者:松尾聡、永井和子校注・訳 ③『枕草子』 発行所:小学館(新編日本古典文学全集) 1997年 4,679円

改めて学校で習った作品を読んでみてはいかがでしょうか?きっと大学生として新たな世界が広がります。原文 ですが口語訳も、注(説明)もついていて、自分なりに作品と向き合うことができます。これまで一部しか触れてこ なかった『枕草子』をじっくり味わって頂きたいです。

文学部 中川 桂 准教授

①『**笑いの歌舞伎史**』 著者: 荻田 清 発行所: 朝日新聞出版(朝日選書) 2004年 1,260円

②『江戸の妖怪革命』 著 者: 香川雅信 発行所: 角川学芸出版(角川ソフィア文庫) 2013年 820円

著 者:山本博文

③『歴史をつかむ技法』 発行所: 新潮社(新潮新書) 2013年 798円

三冊の共通テーマは「江戸時代(を含むもの)」。

①はユニークな視点からの近世歌舞伎史。とかく難しく思われがちなこんにちの歌舞伎だが、本来は大衆娯楽 なのだということがよく分かる。だいたい「伝統芸能は敷居が高い」などという人ほどロクに知識もなく、ちゃ んと見たことがない。このような書を読み、分かりやすく、しかも笑いのある演目を観れば、娯楽としての歌舞 伎が理解できよう。

②は近世の文学や芸能をはじめとして、各種の資料から妖怪文化に迫る書。こちらでも近世中期、妖怪や化け 物は恐怖の対象から娯楽へと変質した。妖怪をこしらえてしまう「妖怪手品」の項は興味深い。ほかにも妖怪を 扱った図鑑、文芸、玩具、歌舞伎や落語と、近世の妖怪文化は花盛りだ。よく考えれば、つまりはこんにちと同 じということか…。

③は歴史学者による、歴史を学ぶ上で参考となる基礎的知識や分析視点が述べられた書。著者の専門は近世史 だが、古代から近代まで手広く触れている。最新の学問的知見をふまえた各時代の要点説明は、日本史のおおま かな流れを復習するのにも役立つ。

国際政治経済学部 古賀光生 専任講師

著 者: E.H.カー 清水幾太郎 訳 ①『歴史とは何か』 発行所: 岩波書店(岩波新書) 1962年 861円

社会科学の基礎とも呼ぶべき「歴史」について、その基底部分を丁寧に、かつ、根源的に検討する本です。「歴史 とは、過去と現在の対話である」という本書の基本的なアイデアをめぐって、様々な観点から繰り返し議論します。 歴史が好きな人にもよい本ですが、むしろ、年号や人名の丸暗記に意味を見いだせなかった人にこそお勧めしたい 一冊です。

②『市民の政治学』 者、角・除ぶ 発行所:岩波書店(岩波新書) 2004年 756円

世界各地で、民主主義が形骸化していると指摘されています。本書は、こうした現状を俯瞰的な視座で捉えます。 その上で、こうした現状への処方箋として、「討議デモクラシー」を提示します。政治理論書としても著名ですが、 現代史入門としてもお勧めできる一冊です。

③『世界はなぜ仲良くできないの? 暴力連鎖を解くために』

発行所: 阪急コミュニケーションズ 2004年 1,680円 著 者:竹中千春

戦争はなぜなくならないのか、暴力を防ぐにはどうしたらよいのか、という、国際政治学における最も根本的な問 題について、専門用語を振りかざすことではなく、暴力の連鎖を生み出す国際社会や紛争地域の諸問題を丁寧に説 明することで、答えを示そうとする本です。参考文献リストも充実していますので、本書を端緒として、読書を広げ ていくにも最適です。

教職課程 小渕朝男 教授

①『他者の喪失から感受へ』 著者: 田中智志 発行所: 勁草書房 2002年 2,520円

②『フェミニズムの政治学』 著 者: 岡野八代 発行所: みすず書房 2012年 4,410円

③『**逝きし世の面影**』 著者:渡辺京二 発行所:平凡社(平凡社ライブラリー) 2005年 1,995円

なぜこれほど息苦しい時代なのか、どうしてもっと芳醇な生を創り出せないのか、とりわけ学校がなぜそうなってしまっているのか。そんなことを考え考え生きてきたのだが、①はそうした問題を考える上で示唆に富んでいる。「教育」が成り立つ(より正確には教育方法が機能する)前提が消滅している時代に、教育はいかにして可能となるのか。そんなことを考えている研究書である。②はフェミニズムの立場から正義やリベラリズムを再審にかけてきた政治学者の本。公私二元論的な世界のもとでケア関係を私的世界に押し込めてきた男性原理への告発書であり、男である自分自身がそれと気づかずに、どのような世界に支えられて生存できているのかを考えさせられる。③は、本季報の過去の号で既に推薦されていたような気がしないでもないが、人間や文学・文化に関心ある学生には是非読んでほしいものである。この国および社会が明治維新以降、西洋文明(≒キリスト教文明)の導入によって何を失い、どう変わったのか。近世以前の日本、キリスト教以前の西洋文明がどういうものとして存在していたのか等々、想像が膨らむ刺激的な書である。これら3冊は一人で読むのもよいが、仲間を見つけて一緒に読み合うと尚一層深い読みができるであろう。

国際政治経済学部 岩崎愛一教授

 著者: ジョアオ・マゲイジョ 塩原通緒 訳

 発行所: NHK出版 2013年 4,200円

1938年3月末、イタリアのシチリア島からナポリへ向かうフェリーから失踪した天才物理学者マヨラナの、31歳の生涯を追った書である。シチリア島で生まれ育ったこのイタリア人を追う書で、イタリア社会、家族、そして友人間の葛藤を読むのが面白い。

『100年の難問はなぜ解けたのか 天才数学者の光と影』

著 者:春日真人 発行所:新潮社(新潮文庫) 2011年 515円

数学のノーベル賞と言われるフィールズ賞と賞金100万ドルが、「ポアンカレー問題」を解いたロシア人ペレルマンに与えられた。だが、彼はそれを拒否したのみならず、数学界から姿を消した。ペレルマンはなぜ、数学研究所を辞めてしまったのか、今はどんな生活をしているのか、数々の天才数学者を悩ませた「ポアンカレー問題」とは?

『鏡の中の物理学』 著者:朝永振一郎 発行所:講談社(講談社学術文庫) 1976年 588円

光子(光)の不思議な振る舞いを、「光子の裁判」で検事(一般の人)と弁護人(物理学者)のやり取りから易しく説明する。1人の犯人が、同時に2か所に存在しうるか? 一般の理解を超えた(おそらく学生諸君には理解できないであろう)存在がここで語られる。

文学部 伊藤晋太郎 准教授

①『三国志演義(上•下)』 著者: 立間祥介 訳 発行所: 平凡社(中国古典文学大系) 1968年

学生の中には、吉川英治や北方謙三の小説版を読んで、三国志を読んだ気になっている人がいますが、それらは翻訳ではなく、あくまでも日本人作家による改編作品に過ぎません。まずは『三国志演義』の訳本の読破に挑戦してもらいたいものです。数種類ある訳本のうちでも、立間祥介先生の訳文のリズムは読みやすいと定評があります。

②『漢文法ひとり学び:白文攻略』 著者: 加藤 徹 発行所: 白水社 2013年 2,520円

古来、日本人は漢文を訓読することで、日本語として読んできました。しかし、漢文とはそもそも古代中国語であり、外国語です。この本は、これまでなかった外国語の教科書のような感覚の漢文法入門書です。中国文学科の1年生には中国文学演習という必修科目がありますが、一読しておくと、授業がより分かり易くなるでしょう。

3 『**青い城**』 著者:モンゴメリ 谷口由美子 訳 発行所:角川書店(角川文庫) 2009年 740円

『赤毛のアン』で有名なモンゴメリの作品です。家庭環境などの影響で自分を抑えて生きてきた主人公が、病気をきっかけに生き方を変えていく姿が爽快です。大学入学で環境が変わった今は、自分を変えるチャンスでもあります。周囲の目をあまり気にしないで、心の声に従ってみるのも悪くないと思います。

利用者からのQ&A(九段図書館)

カウンターでよく聞かれた質問とその回答をいくつかご紹介します。この他にもわからないことがあったらカウンターでお尋ねください。

Q:DVDは何枚借りられますか?

A:図書とDVD合計で10点まで借りられます。(九段図書館と柏図書館を合わせ)

(例) 図書を6冊借りていたら、DVDは4枚まで借りられます。

Q:前に借りた本をもう一度見たいのですが、書名が思い出せません。何か調べる方法はありませんか?

A:「マイライブラリ」で確認できます。「マイライブラリ」の操作メニューに「履歴」というものがあり、そこで自分が過去に借りた本を見つけることができます。「マイライブラリ」についての詳しい説明は、図書館の利用ガイドや「季報」85号をご覧ください。

Q:貸出資料をもう少しお借りしたいのですが。

A: 資料の貸出延長は、1冊につき1回のみ可能です。該当資料をカウンターに持参いただいて手続きを行うか、また、「マイライブラリ」からご自分で手続きをしていただくこともできます。(但し長期貸出や返却期限が過ぎているものは除きます。)

Q:図書館で購入して欲しい本があるのですが。

▲:カウンターにある「購入希望図書申込票」に必要事項を記入してお申し込みください。「マイライブラリ」から申請することもできます。

Q:OPACの所在が「柏保存書庫……」となっている本はどこにあるのですか?

A: 柏図書館にあります。閉架書架のためカウンターでの手続きが必要です。九段図書館で利用したい場合には、資料や必要な部分の複写物を取り寄せることもできます。詳しくはカウンターでお尋ねください。

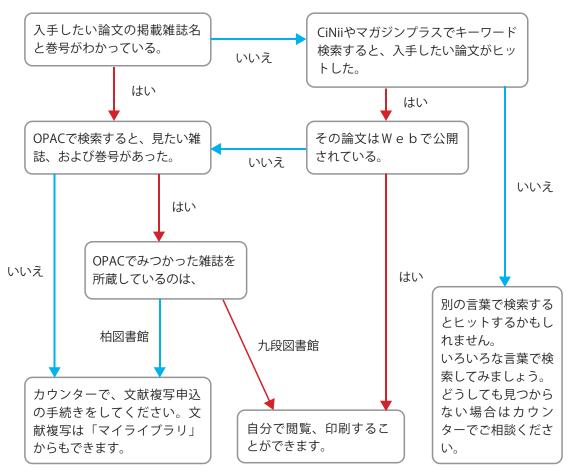
Q:図書館にあるノートPCを利用したいのですが。

A:カウンターで学生証を提示して手続きをしてください。閉館時間の30分前まで利用できます。なお、1回の使用は2時間までです。

論文を探しましょう

図書館では、レポートや論文を書くときに参考とする、他の人が書いた論文を探すことができます。九段図書館にない論文は、柏図書館や他大学の図書館等へ複写を依頼できます。しかし、本当は九段図書館にあったのに見つけられずに複写の依頼をしてしまったことはありませんか。あなたはうまく論文を入手できるかチェックしてみましょう。

○スタート



如何でしょう。無事に論文を入手できましたか? わからないことがありましたら、カウンターへお尋ねください。 図書館では今年度、「情報検索講習会」や「図書館を使う!レポート・論文の書き方ワークショップ」を開催致しました。こちらでは、論文だけではなく様々な調査方法を学ぶことができます。来年度も行う予定ですので、ぜひ参加してみてください。開催時期が近付きましたら、掲示や図書館のホームページでお知らせ致します。

図書館だより

図書館カレンダー 開館日・開館時間は変更することがあります。詳しくは図書館ホームページをご覧ください。

九段図書館

3月

日	月	火	水	木	金	±
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9:00~16:50

9:00~19:00 閉館

3月

柏図書館

9 /3						
日	月	火	水	木	金	±
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9:15~16:30

閉館

4月

-/3						
日	月	火	水	*	金	H
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

8:40~21:50

9:00~16:50

閉館

	ı	
Δ	L	F

-/3						
田	月	火	水	*	金	H
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

9:15~16:30

閉館

5⊨

-/3						
日	月	火	水	*	金	±
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8:40~21:50

9:00~16:50 閉館

5⊨

9 73						
日	月	火	水	*	金	H
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

	閉館
i	

9:15~16:30

6月

-/3						
日	月	火	水	*	伷	H
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8:40~21:50

9:00~16:50

閉館

6月

U /3						
日	月	火	岺	*	伷	H
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9:15~16:30

閉館

%3/1(土)、8(土)は、入試のため閉館(九段)。%3/6(木)、7(金)、13(木)、14(金)はレイトデー(九段)。

※4/3(木)は入学式のため閉館(柏)。※4/29(火)は授業開講のため開館(九段)。

※5/7(水)は全学休講のため閉館(九段、柏)。

編集後記

「季報」88号をお届け致します。

本号では、先生方に「新入生にお薦めの本」とその推薦 文を書いていただきました。ご協力いただいた各先生に御 礼申し上げます。きっと「読んでみたい」と思える本が見 つかると思います。学年の節目に読書を楽しんでください。

 $(S \cdot A)$

二松学舎大学附属図書館

季 報 第88号

発行日 平成26(2014)年3月1日 発 行 二松学舎大学附属図書館

九段図書館 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

電話:03-3263-6364

柏 図 書 館 〒277-8585 千葉県柏市大井2590

電話:04-7191-8758

印刷所 株式会社 サンセイ 電話:03-5227-8333